



学校教育目標 「よりよく生きようと学び合う子どもの育成」
21世紀型スキル&倫理観 「課題発見 解決力」「思考力 判断力 表現力」
「主体性 積極性」「共感力」
めざす授業像 「主体的・対話的で深い学び」

2022(令和4)年6月8日
福山市立野々浜小学校
校長 埜田 勝司

〒721-0926 福山市大門町七丁目13番1号 E-mail: shou-nonohama@manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp
TEL:084-943-9701 FAX:084-943-9762 学校 HP:http://www.manabi.city.fukuyama.hiroshima.jp/shou-nonohama/

学級閉鎖の基準が変更になっています。

新型コロナウイルス感染症への対応としてマスク着用の緩和について、マスコミ報道等がなされていますが、福山市内の各学校では基本的にマスク着用を継続し、屋外の活動において熱中症が懸念される場合には、身体的距離の確保や会話を控える等の前提でマスクの着脱を認めることにしています。屋内での活動においては、エアコン等を利用することにより、熱中症のリスクを低減させられるため、マスク着用を継続していきます。

また、5月末に新型コロナウイルス感染症の陽性者が発生した場合の学級閉鎖等の基準が変更となっています。これまでは学級において陽性者が1名でも出た場合には学級閉鎖を実施することになっていましたが、今後は学級閉鎖を実施する基準は以下のように変更されています。

- ① 同一学級で感染可能期間に登校している複数の児童生徒の感染が判明した場合
- ② 感染者の周囲に未診断の風邪等の症状のある者が複数いる場合
- ③ 感染者の濃厚接触者が複数いる場合
- ④ その他、教育委員会が必要と判断した場合

これにより、陽性者が判明しても、すぐに学級閉鎖とはならない場合がありますのでご了承ください。ただし、その場合にも生活の場を共にした学級内の児童は接触者として5日間は健康観察等をいつも以上に念入りに行った上で登校させてください。風邪等の不調が見られる場合には登校は見合わせていただきますようお願いいたします。

土砂災害に関する避難訓練を実施しました。

学校では年間を通して計画的に避難訓練を実施しています。5月6日(金)には今年度1回目として、「土砂災害」を想定しての避難訓練を行いました。

学校のある野々浜地区には数か所の土砂災害危険箇所が存在し、中でも野々浜小学校の裏山は『土砂災害特別警戒区域』に指定され、特に危険な急傾斜レッドゾーンもあります。

今回の避難訓練では「裏山が崩れて校舎へと土砂が押し寄せた」という想定で、いち早く安全な場所に避難することを目標にして実施しました。各教室から避難して集まった体育館では、避難行動で重要な「おかしも(おさない・かけられない・しゃべらない・もどらない)」の合言葉や土砂災害の恐ろしさ・危険性について、過去の福山での被害の様子やハザードマップを見ながら学習しました。

福山市では土砂災害や洪水、津波など災害別のハザードマップが市のホームページに掲載され、いつでも見られるようになっています。今後学校でも各家庭での具体的な避難行動「マイ・タイムライン」を作るよう指導していきますので、ご家庭でも命を守る避難行動について話し合ってみてください。(広島県教育委員会から冊子が配布される予定です。)

福山市土砂災害ハザードマップより(関係部分)



今年も挑戦！チャレンジノート ～自学の力を身に付けるために～

自ら課題を見つけ、学ぶ力を育成するために、子ども達は家庭学習で自主学習に励んでいます。その自主学習ノート(本校では「チャレンジノート」と呼んでいます)に取り組んでいる中で、学習内容やまとめ方の工夫など秀逸なものを学年で1点選び、表彰・掲示しています。先日は4月分の表彰を学年ごとに行いました。表彰状のチャレンジノートの画像や「先生からのメッセージ」を見ると、どの児童のノートも自分の思考を働かせた素敵なものでした。これからも友達のチャレンジノートを参考にしながら、オリジナリティ満載の「マイチャレンジノート」に取り組んでほしいものです。表彰者は次のとおりです。

学年	2年	3年	4年	5年	6年
4月	W.Rさん	F.Mさん	N.Hさん	Y.Rさん	T.Rさん

個人情報保護のため、表彰者名はイニシャルでの表示としています。

ストレスとその対処法について学習しました。(6年)

「現代はストレス社会」とも呼ばれ、「ストレスが溜まって体調を崩した。」とか「ストレスが事件を引き起こした。」などと悪影響を及ぼす原因としても多く語られる「ストレス」。その正体と上手に付き合う「ストレスマネジメント」について、5月31日にスクールカウンセラーの尹先生を講師にお招きして学習しました。

はじめに「不安や困る事(ストレスを感じる事)」と「その時の気持ち(どうなるか)」について子ども達がワークシートに書き込みをしました。様々なストレス要因によって、怒りが込み上げてきたり、思い悩んでしまったりすること、それにより友達や家族に攻撃的に接したり(暴言や悪口、けんかなど)、心を閉ざしてしまったり、自虐的になってしまったりすることがある等と、自己を振り返っていました。

尹先生からは「そもそもストレスとは、外部から刺激を受けたときに生じる緊張状態のことで、例えば気温が高くなった時に『暑い』と感じるのも一種のストレスであり、それを感じられるから衣服を調節したり、クーラーをかけたりと対処して体を守ることができる。」という話を聞き、ストレスにも悪い面ばかりがあるのではないことを知ることができました。また、大事なのは「ストレスにどう向き合うか」ということであり、「“こころの専門家”のアドバイス」として、ストレスからの回復に向けて大切にしたいことや、周りの人も自分も傷つけない対処法などについても助言をもらいました。

子ども達は「ストレス」について楽しく学び、自分なりの「ストレス解消法」についても考えていました。これからの生活につなげていける貴重な授業となりました。(以下は授業中の提示資料を整理したものです。)

こころの専門家のワンポイント講義

◎「ストレス」にもいいところがある

- ①自分の心と体に危機を教えてくれる
⇒ストレス反応が危険を察知
- ②ストレスフリーは本当に幸せ?
- ③ストレスに感謝すると長生きする

こころの専門家のワンポイント講義

◎ストレスの解消法は大きく2つ

- ◆部屋が暑い場合
 - ①問題を解決する方法
 - ・クーラーをつける、衣服を調節する等
 - ②とらえ方を変える方法
 - ・「どうせ汗をかくし、シャワーを浴びればいいのか」と考える。

回復に向けて大切にしたい3か条

- ①ゆっくり休むこと(頑張りすぎない)
- ②身近な人に相談し、解決する
- ③こころの専門家に相談してみる
⇒精神科医(クリニック)、臨床心理士(SC)等

5/11 交通安全教室を実施

今年度は1・2年に道路の歩行の仕方を、3・4年に自転車の乗り方について、福山市役所の市民生活課の方3名をお招きして指導していただきました。歩行も自転車もどちらも一番大切なことは「安全確認をすること」だそうです。自分の命は最終的には自分でしか守れません。学習したことを常に頭において安全な歩行・自転車の乗り方をしてほしいものです。

※自転車に乗車する際はヘルメットを着用する指導をしています。ご家庭でもヘルメットのご準備とご指導をよろしくお願いいたします。

